

### KEY WORDS

#### 排出権取引

1997 年に締結された、地球温暖化防止のための協定書である京都議定書で認められた、二酸化炭素削減に関して盛り込まれた国際間取引のこと。地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減目標を定めた際、二酸化炭素を多く出す国と、そうでない国とで二酸化炭素の排出量を取引することで、先進国が削減目標を達成するために盛り込まれた。これでは、本当の意味で二酸化炭素の削減につながらない、という指摘もある。京都議定書は 2005 年 2 月 16 日に発効し、日本は 1990 年の二酸化炭素排出量の 6% 減少を義務付けられている。

#### P F I (Private Finance Initiative)

安価で良質なサービスの提供を目的に、民間が持つ資金やノウハウを活用して社会資本を整備する手法のこと。1992 年に英国で始まり、日本では 99 年に PFI 法が成立し、公共事業費削減や景気対策の一環として導入された。自治体と民間が共同出資して設立する第 3 セクターとは異なり、PFI では民間事業者が事業の設計、建設、運営、維持管理を一貫して手掛け、公共部門が民間からサービスを購入する。事業全体のリスク管理を効率化して財政負担を減らせる。最近開港した中部国際空港も、これを活用した。

#### 立会外取引

朝 9 時前、昼休み、午後 3 時以降など、通常の市場取引時間外に株を取引するための制度。今までは、主に企業間の株式持ち合い解消や自社株買いに利用されてきた。これは時間外取引だが、あくまで証券取引所内での取引であり、証券取引法で禁止されている TOB (株式公開買い付け) の市場外取引にはならない。最近、ライブドアによるニッポン放送の株式取得が話題となっているが、この取引を使って一気に株式を取得したものである。今後は企業買収などで使われる可能性があり、金融庁などが、TOB への規制をかけることを検討し、今国会での法案の成立を目指している。

#### フィッシング詐欺

実在の銀行・クレジットカード会社・ショッピングサイトなどを装ったメールを送信し、記載した銀行・クレジットカード会社・ショッピングサイトにそっくりな偽の Web サイトに呼び込み、クレジットカード番号やパスワードを入力させてそれを入手してしまうという詐欺のこと。最近では手口が巧妙になっているので、被害にあわないためには、むやみに自分の個人情報や安易に書かないようにすることがいいとされる。最近では日本の警察も、この詐欺の取り締まりを積極的に行うようになったが、まだ効果を上げていないといえない。

### Opinion & Announcement

本年は青色申告制度施行・青色申告会結成 55 周年を迎える。青色申告会を取り巻く経済環境だけを見ても、戦後の高度成長期、オイルショック、バブル期、そして長期の景気低迷と大きな変化を見せた。しかし、未来に向けて明るい話題は少ない。増える一方の国・地方の巨額の財政赤字、急速に進む少子高齢化が社会保障制度不安を深刻化させ、これらにより国民の負担は拡大する一方だ。税収確保のために、所得税の各種控除の縮減で課税ベースを拡大、また消費税率の引き上げも視野に入れられている。組織問題では地方財政の緊縮にとめない、会議所・商工会の広域連携・合併が進められ、それらに事務を委託する併設会では重要な問題になっている。多くの会で会員が減少しており、将来、財政が困窮する可能性もある。全国の青年部の仲間をお願いしたい。ぜひ、国や地方、会の未来を熱く語って欲しい。そしてどんな活動が今、求められているのか考えて欲しい。

平成 17 年の青色申告会の指導・相談の重要テーマは、消費税と複式簿記である。消費税事業者免税点制度が 3 千万円から 1 千万円に引き下げられ、平成 15 年を基準期間として平成 17 年分から新規に課税事業者になる個人は 123 万人、法人は 58 万社といわれている。確定申告期の繁忙な会員指導が一層混雑し、指導を誤るケースが増える恐れがある。消費税の税額は大きいので影響も大きい。事前の会員指導、体制準備を行う必要がある。青年部は率先して取り組んでいただきたい。複式簿記は、青色申告特別控除が 55 万円から 65 万円に拡大し、合わせて簡易帳簿で記帳する場合は 10 万円に限定されたことがポイントである。従来、簡易帳簿で記帳しても決算書に貸借対照表を記載すれば 45 万円が適用された。パソコン用会計ソフト『ブルーリターン A』を活用し、65 万円適用の拡大に取り組みたい。

## 青年部アンケート集計結果報告

全青色青年部は、青色申告会青年部を対象にアンケートを実施した。ここではその一部を抜粋し、掲載する。なお、アンケートの送付先数は240、回収数は136、回収率は56.7%であった。比較のために記載した前回調査は2000年に実施した(送付先数357、回収数は179、回収率50.1%)。

### ・組織形態について

#### 1. 貴会は独立会と併設会どちらですか？

		回答数	%	前回調査
独立会		97	71.3%	60.9%
併設会		39	28.7%	30.1%
商工会	24	17.6%		
商工会議所	15	11.0%		

青色申告会の事務局が独自の事務所、職員をもつ場合は独立会、事務局を商工会、商工会議所に委託する場合を併設会という。

### ・部員について

#### 1. 部員数は何人ですか？(未回答5)

	回答数	%	前回調査
1～10名	14	10.7%	13.3%
11～25名	59	45.0%	38.7%
26～50名	44	33.6%	37.0%
51～75名	10	7.7%	6.9%
76～100名	1	0.8%	1.7%
101～125名	1	0.8%	0.0%
126名以上	2	1.6%	2.3%

回答には税務署単位の青年部の回答も含んでいる。なお、24部から女性部員がいるとの回答があった。

#### 2. 部員の平均年齢は？(未回答39)

	回答数	%	前回調査
30歳未満	0	0.0%	0.0%
30歳以上 35歳未満	0	0.0%	3.4%
35歳以上 40歳未満	23	23.7%	13.8%
40歳以上 45歳未満	16	16.5%	27.0%
45歳以上 50歳未満	28	28.9%	24.7%
50歳以上 55歳未満	20	20.6%	10.9%
55歳以上	10	10.3%	0.6%

青色申告会の会員の高齢化とともに、青年部員の高齢化がすすんでいることがわかる。

#### 6. 部員の記帳形態は？(未回答31、回答は部員数の計)

	回答数	%	前回調査
ブルーリターンA	256	10.3%	15.7%
ブルーリターンA以外のソフト	413	16.6%	
複式簿記	441	17.7%	20.8%
簡易簿記	934	37.5%	45.4%
現金主義	24	1.0%	1.1%
税理士関与	226	9.1%	17.0%
その他	197	7.9%	-

全体として複式簿記や会計ソフトへの移行が進みつつあるが、まだ低調だと考えられる。また、全青色の会計ソフト『ブルーリターンA』の利用も低調である。平成17年分から簡易簿記での青色申告特別控除額(事業所得の場合)が45万円から10万円に下がること考えると、OAを使った複式簿記での記帳をより一層推進する必要がある。

・役員について

2. 役員年齢制限は？（未回答 9）

			回答数	%	前回調査
ある			31	24.4%	38.9%
40 歳	1	0.8%			
45 歳	19	15.0%			
50 歳	8	6.3%			
その他	3	2.4%			
ない			87	68.5%	53.5%
現在検討中			9	7.1%	7.6%

「その他」には 55 歳、60 歳等がある。

3. 部長在任中の親会での役職は？（未回答 1）

			回答数	%	前回調査
ある			116	85.9%	79.3%
副会長	17	12.6%			
常任理事	31	23.0%			
理事	57	42.2%			
幹事	0	0.0%			
その他	11	8.1%			
ない			16	11.9%	16.7%
現在検討中			3	2.2%	4.0%

4. 部長退任後の親会での役職は？（未回答 9）

			回答数	%	前回調査
ある			42	33.1%	30.4%
副会長	7	5.5%			
常任理事	6	4.7%			
理事	23	18.1%			
幹事	1	0.8%			
その他	5	3.9%			
ない			74	58.3%	57.3%
現在検討中			3	2.4%	12.3%

青年部長は親会の役員を兼務するケースが多いが、退任後は役員として残らないケースが多いことがわかる。

・財政基盤について

1. 平成 15 年度の青年部の予算額は？（未回答 4）

		回答数	%	前回調査
0 円		10	7.6%	3.8%
1 円以上 10 万円未満		9	6.8%	5.7%
10 万円以上 25 万円未満		24	18.2%	23.9%
25 万円以上 50 万円未満		41	31.1%	34.0%
50 万円以上 75 万円未満		23	17.4%	12.6%
75 万円以上 100 万円未満		14	10.6%	9.4%
100 万円以上 125 万円未満		4	3.0%	6.9%
125 万円以上 150 万円未満		4	3.0%	0.6%
150 万円以上		3	2.3%	3.1%

部費の平均額は 502,718 円、それに対し親会予算からの助成金の平均額は 301,232 円である。

## 2. 部費について

### (1) 部員が負担する部費の有無は？（未回答4）

			回答数	%	前回調査
ある			43	32.6%	42.0%
1,000 円未満	0	0.0%			
1,000 円以上 2,000 円未満	11	8.3%			
2,000 円以上 3,000 円未満	6	4.5%			
3,000 円以上 4,000 円未満	14	10.6%			
4,000 円以上 5,000 円未満	0	0.0%			
5,000 円以上 6,000 円未満	3	2.3%			
6,000 円以上 7,000 円未満	0	0.0%			
7,000 円超	6	4.5%			
その都度	1	0.8%			
ない			92	69.7%	57.4%
現在検討中			1	0.8%	0.6%

部費の平均は 8,007 円だが、1,000 円から 3,000 円までが多い。なお、7,000 円を超える場合、年額 12,000 円が多い。

### . 青年部のPR・部員増強運動について

#### 1. 青年部独自の広報誌の発行は？（内容は複数回答可）（未回答12）

			回答数	%	前回調査
青年部独自の広報誌がある			6	4.8%	-
平均発行回数	4.7				
一回の発行部数	4,150				
財源として、青年部予算と広告料収入	3				
財源として、広告料収入のみ	0				
その他の財源	3				
本会の広報誌に青年部のスペースがある			12	9.7%	-
一年間の平均掲載回数	3.8				
一回の発行部数	3,875				
内容として青年部活動報告	6				
内容として青年部員募集	8				
その他の内容	1				
なし			106	85.5%	-

青年部の広報をしていない会が、非常に多い。

#### 2. 部員増強運動は？（運動内容は複数回答可）（未回答5）

			回答数	%	前回調査
行っている			92	70.2%	73.4%
青年部独自の広報誌の活用	6				
親会の広報誌の活用	29				
事務局まかせ	5				
役員（部員）による個別勧奨	92				
決算申告時期の事務局での勧奨	10				
その他	7				
行っていない			39	29.8%	26.6%

青年部員は各部とも部員の減少傾向にあると思われるが、積極的な入部勧奨を行っていない会が 3 割近くもある。

・TEN-UP ACTIONについて

1. TEN-UP ACTIONという言葉をご存知ですか？（未回答3）

	回答数	%	前回調査
知っている	110	82.7%	-
知らない	23	17.3%	-

2. TEN-UP ACTIONについてご意見・ご要望

TEN-UP ACTION について、意見・要望等を聞いたところ、『良いことだと思う。部員増員をめざしてがんばりましょう』『TEN-UP ACTION の合言葉の意味が、部員増強・会員拡大・青年部の新設であるということが、青年部員の意識に定着するように運動していかなければならない』『このようなスローガンのものを掲げる必要があるか？ないか？多少の疑問がある』『青年部役員は、ほとんど知らないと思う』など、様々な意見をいただいた。全体的には、このスローガンに肯定的な意見が多かった。

・親会の支援・参画活動

1. 親会の支援活動として何を行いましたか？（複数回答可）（未回答11）

	回答数
決算申告期の広報活動	48
申告期の税務署での駐車場の整理	6
青色コーナーの支援活動	33
青色勤奨月間の広報活動	39
決算申告時期の指導活動	26
決算申告時期の受付業務	32
税を知る週間の広報活動	34
本会主催のレクリエーションの支援活動	48
その他	6

広報活動の支援とレクリエーション活動の支援が最も多いが、今後は会計ソフトでの記帳者が増えるなど、青年部員が指導・相談に果たす役割も大きくなると思われる。

2. 青年部員（部長・役員含む）の親会の各種委員会への参加は？（複数回答可）（未回答10）

	回答数	%	前回調査
ある	72	57.1%	55.0%
総務	30		
組織	26		
税制	16		
事業	38		
広報	39		
指導	30		
OA	2		
その他	5		
ない	54	42.9%	42.0%
現在検討中	0	0.0%	3.0%

OAは最近になって設けられはじめた委員会・部門なので数が少ない。税制に参加する割合が低いのは、知識が乏しいためかもしれないが、青年部から親会に参加を求めているだろうか。

・平成15年度に実施した事業の内容について

1. 税制改正運動を行いましたか？(複数回答可)(未回答8)

		回答数
青年部独自に行った		26
部員だけの勉強会	7	
議員を囲む研修・講演	2	
地元議員への陳情	0	
その他	17	
親会または女性部と合同で行った		34
勉強会	18	
議員を囲む研修・講演	4	
地元議員への陳情	8	
その他	16	
行っていない		68

税制改正運動は全青色青年部が掲げる重要テーマの一つである。しかし、大半の部で取り組みがなされていない。親会がすすめる運動に積極的に参加するという方法もよいが、青年部が独自に「議員を囲む研修・陳情」を国政報告会、研修会として開催し、国政の様々な課題についてわかりやすく説明を受けることで問題意識もあらたになる。ぜひ、開催を検討して欲しい。

2. 研修事業

(1) 青年部でパソコン研修を行いましたか？(複数回答可)(未回答12)

		回答数	%	前回調査
青年部独自に行った		45	36.2%	29.7%
会計ソフト	14			
インターネット関係	12			
オフィス系ソフト	16			
その他	3			
本会でいった研修に青年部が参加した		39	31.5%	70.3%
行っていない		40	32.3%	

パソコンへの取り組みは、全青色青年部の掲げる重要テーマの一つである。青年部員の記帳水準の向上を合わせて、新入部員を迎えるきっかけとなるよう青年部の事業としてとりあげて欲しい。

(2) 青年部で消費税研修を行いましたか？(複数回答可)(未回答12)

		回答数	%	前回調査
青年部独自に行った		65	47.8%	-
税務署や税理士などを講師とした研修	28			
会計ソフトを使った研修	21			
その他	16			
本会でいった研修に青年部が参加した		26	19.1%	-
行っていない		85	70.3%	-

消費税への取り組みも、全青色青年部の掲げる重要テーマの一つである。平成17年度より課税最低限が1,000万円に引き下げられたことで、課税事業者となる部員が増えると思われる。正しい申告のためにも青年部の事業としてとりあげて欲しい。

5. 平成15年度の事業活動で特に部員に評判が良かった事業は？

研修事業、レクリエーション事業に満遍なくあり、家族を交えるレクリエーションもあったが、とくに、パソコン研修会、異業種交流会が多かった。他の企業・団体が高額に参加費で開催する研修を、低廉な参加費あるいは無料で実施する場合、評判が良いのは理解できる。レクリエーションよりも、学ぶことのほうが新入部員の勤奨につながるのではないだろうか。

具体的な例として、『消費税改正税法研修会』『ブルーリターンAの勉強会』『3青年部(商工会・法人会・青申会)合同視察研修』『街頭献血』『商店会主催のイベントへの参加協力』などが挙げられた。

## ・青年部としての今後の課題について

### 1. 貴会青年部の課題・悩みは何ですか？(複数回答可)

	回答数	%	前回調査
活動の停滞	1	5.0%	-
活動のマンネリ	0	0.0%	-
参加者の減少	4	20.0%	-
参加者の固定	3	15.0%	-
部員の減少	6	30.0%	-
部員の高齢化	2	10.0%	-
役員のなり手がいない	1	5.0%	-
その他	3	15.0%	-

### 2. 青年部長さんは、青年部運営の何が悩みですか？

青年部員の増強、青年部員の高齢化、活動のマンネリ化、部員が次代を担う者であるとの自覚がない、等の悩み、課題を挙げる方が多かった。今後の取り組みとして、青年部員として考える中・長期的な青色申告会の展望、女性部との合同行事による活発化等、具体的に挙げて積極的に部を率いている方もいたが、「若い部員対象者が入会したがない」という声もあった。

### 3. 事務局ご担当は、青年部運営の何が悩みですか？

回答は青年部長とほぼ同じ傾向であるが、ほかに、魅力ある青年部を作るために教養講座などの研修事業を推進するといった回答が多かった。しかし、具体的活動を挙げた会は少なかった。具体的回答としては、『行事の案内方法が難しい、回答をなかなかもらえない、青年部役員とのコミュニケーションを図るのが難しい』『部員の減少』などが挙げられた。

## ・全青色青年部について

### 1. TEN-UP NEWSについて

	回答数	%	前回調査
知っている	105	80.8%	88.4%
知らない	25	19.2%	11.6%

### 2. TEN-UP NEWSの掲載内容についてご意見・ご要望

『他会のユニークな活動があれば掲載していただきたい』『メールマガジンに変更され、紙面数の制約もなくなった為、内容の一新を図ってもらえたらと思う』『税制改正についての説明をより詳しく、わかりやすく掲載してほしい』『全青色青年部について外部あるいは先輩方からの意見が聞けたらいいかもしれない。現在、無料化したにもかかわらず、読まれている状況が思わしくないようなので、全ての青年部員に届くべく方策を考えていかねばならない』などの意見が寄せられた。

全体的に、他会の状況を知りたい、わかりやすいものを作ってほしい、という意見が多かった。

### 3. 全青色青年部では理事会、委員会、行事等の「会議報告」を傘下に部が所在する税連に、事務連絡として毎回送付していますがご存じですか。(未回答6)

	回答数	%	前回調査
知っている	68	52.3%	70.0%
知らない	62	47.7%	30.0%

全青色青年部が理事会、委員会、行事等の「会議報告」を青年部が傘下に所在する税連に事務連絡として毎回送付していることについて知っている会は68会(52.3%)と、TEN-UP NEWSほど多くない。これは、税連から単位会への事務連絡がスムーズでないといえる。

### 4. 全青色青年部の活動についてご意見・ご要望

『全国的な視野に立った地区会への支援の拡充をお願いしたい』『全青色でなくてはできない事業を行ってほしい』『TEN-UP ACTION を柱に本会をサポートしていく方向は良いと思う。問題は、全国のメンバーが内容を知っているかどうか？全青色青年部の広報活動と各部長と地方とのツールに問題を感じる。』などの意見が寄せられた。また、アンケートにご協力いただいた皆様に感謝するとともに、アンケートの集計結果は、2月末に各税連(青年部のあるところのみ)に送付済みなので、ぜひお目通し願いたい。



事務局 〒171-0021 東京都豊島区西池袋  
3-13-15  
TEL. 03-3987-2938 FAX. 03-3971-4386

青年部長 石橋 雄一  
事務局担当 定松 昭良  
発足: 昭和 49 年 7 月 29 日 部員: 126 名  
予算: 助成金 100 万円

〈現役員〉

- 部長 石橋 雄一 (精肉業)
- 副部長 小林 昌志 (クリーニング)
- 笈 沼 勝美 (畳業)
- 石 井 雅一 (和菓子小売)
- 斉 藤 勝 (整体)
- 綿 貫 健次 (畳業)

〈地元概況〉

豊島区は東京の北部にあり、東西に長く広がっているため、JRの駅が5つもあります。

今では全国的に有名な「おばあちゃん原宿」巣鴨、夏の阿波踊りも有名になりました大塚、都内でも有数の商業地の池袋、それに目白・駒込といった、共に活気のある町があります。

豊島区は、「文化の薫る町」を目指して力を入れています。現在の区長さんは初代青年部長の高野之夫氏です。当部にとってまさに誇りと言えます。

〈青年部の活動〉

青年部の基本方針として、研修・親睦・奉仕の3つの柱があり、バランスよく計画を立てて、活動をするように心がけています。

確定申告の時期は、重要な奉仕活動の時期で、事務局の受付業務や広報車に乗ってPR活動にまわ

ったり、青色コーナーのお手伝いをしています。

また、親睦であるレクリエーションは、夏は近場で気軽に参加しやすい企画を立て、秋は朝早くから1日かけて旅行を企画し、青年部員同士が打ち解け合えるように、毎回試行錯誤で計画を練っています。

研修においては、異業種の集まりとしての特色を生かし、青年部員に講師になってもらい、自分の仕事に関する講義をしたり、パソコン研修では、今までの入門編から会計ソフトまで何回か行いましたが、単発的だったのでこれからは継続して行っていきにはどうしたらいいか考えていきたいと思っています。



今後の抱負

部員増強を目指して、青年部役員・事務局一丸となって、確定申告時期にお見えになった対象者の方に入部勧奨を積極的に行っています。

また、他会の方々と顔をあわせるブロック会議では、各会の良い所を積極的に取り入れて常に新しいことに目を向けるようにしていく必要があります。

とにかく、青色申告会の青年部はとても魅力的な集まりです。これからもいろいろなことに挑戦して、より楽しい集まりにしたいと思っています。

青色コーナーに関する補足

今年の確定申告期間中、青色コーナーで青年部員が応援したのは、延べ 12 人でした。また、青色コーナーでの会員増強の成果は 111 人です。また、コーナーの成果ではありませんが、確定申告期間中の青年部員の入部が 7 人いました。

特長的な活動を活発に行う青年部のご報告をお待ちしています。全青色事務局へご一報ください。